

第十七回

武田の杜 新能

武田信玄公 御神忌四百五十年

新作能

甲陽

佐久間二郎

大蔵 教義

狂言

名取川

なとりがわ

仕舞

屋島

やしま

観世 喜正

仕舞

敦盛

あつもり

令和5年 5月27日(土) 午後5時開演(午後4時開場)

■場 所 武田神社能楽殿(甲陽武能殿)
山梨県甲府市古府中町2611

■入場料 正面特別席 10,000円 (お土産付※限定席数)
全席指定席 正面席 8,000円
中正面席 7,000円
脇正面席 7,000円

チケット発売: 令和5年3月27日~

お問い合わせ・お申し込み

武田の杜 新能実行委員会 TEL.055-252-2609

佐久間二郎 TEL.042-316-4860

メール takedanomori.takigino@gmail.com

■主催 武田の杜 新能実行委員会
■後援 山梨県・やまなし観光推進機構・甲府市観光協会・山梨県中小企業団体中央会・甲府商工会議所・山梨放送・テレビ山梨
エフエム富士・山梨日日新聞社・山梨新報社・読賣新聞甲府支局・毎日新聞社甲府支局
■協力 観世九臈会・武田神社・武田神社崇敬会 ■会場設営管理 長田組土木株式会社

解説 新機能「甲陽」について
佐久間二郎

清め祓い・火入れ式

仕舞 敦盛 観世 喜之
やしま 島 観世 喜正

狂言 名取川
シテ(出家) 大藏 教義
アド(何某) 榎本 元

～休憩二十分～

新機能 甲陽
シテ(老人/武田信玄公の霊) 佐久間二郎
ツレ(龍神) 小島 英明
ワキ(旅僧) 野口 能弘
アイ(村人) 大藏 教義
アイ(村人) 上田 圭輔
笛 栗林 祐輔
小鼓 鳥山 直也
大鼓 佃 良太郎
太鼓 大川 典良

午後8時頃 終演予定

『名取川』(なとりがわ)

比叡山で修行をした出家(シテ)が故郷へ帰る途中、「きたい坊」と「ふしょう坊」という二つの名前をもらう。出家は、名前を忘れないようにと自身の両袖に書き留めておくが、途中で川の中に落ちてしまい、袖に書いた名前を流してしまう。そこへ一人の男(アド)が通りかかったので、川の名を尋ねると「名取川」だという。また男の名前も「名取の何某」。それを知った出家は、さては自分の名前を取ったのかと男に詰め寄るが…。

『甲陽』(こうよう)

都より出た旅の僧(ワキ)が、甲斐国(山梨県)古府中を訪れる。そこで出会った一人の老人(前シテ)は、民政に力を注いだ信玄公の功績を語ると、釜無川のはとりへと僧を案内する。そこには「信玄堤」と呼ばれる堤防があり、永く人々を水害から守ってきたが、近ごろ川の底に棲みついた龍神の力により、たびたび洪水が起こっている事実を告げる。すると突如として大雨が降り注ぎ、たちまち釜無川の濁流によって田畑が飲み込まれてしまう。驚く僧に老人は、「龍神の力を封じる『聖牛』を組み直せば川の氾濫もおさまるだろう」と言い残し姿を消す。やがて二人の村人(アイ)が洪水から避難してくると、なんと聖牛が打ち壊されていることに気づく。そこで村人たちは僧と共に聖牛を組み直そうと川に入るが、その際に川の底にいる龍神の目玉を踏んでしまう。その所業に怒り狂った龍神が、いよいよ川の水を溢れさせ人々をも飲み込めんと襲い掛かるので、僧が武田信玄公に祈りを捧げると、不思議なことに川の流が静かになり龍神もその場を退いていく。すると今度は天空より武田信玄公の霊(後シテ)が降臨し、新たな聖牛を川面に設置し水の流れをおさめると、これからも甲斐国の守護神となることを誓い昇天していく。武田信玄公御神忌450年に際し、民を思い慈しんだ信玄公の姿を描いた新機能。



観世 喜之
(かんぜ よしゆき)

観世喜之家(矢来能楽堂)当主。(公社)観世九阜会理事長。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。平成14年度文化庁芸術祭優秀賞・平成17年日本芸術院賞受賞。武田神社能楽殿「甲陽武能殿」を命名する。



佐久間二郎
(さくま じろう)

甲府市生まれ。3歳で能面に興味を持ち、能楽師を志す。高卒後、観世喜之師に師事。東京・山梨に「謡曲・仕舞」の稽古場を持ち、能楽の普及に努めている。平成29年8月「こうふ開府500年カウントダウンイベント500日前」で武田神社能舞台にて祝賀の能を演ずるなど、県内での能楽活動も精力的に行っている。(公社)観世九阜会所属。重要無形文化財総合指定保持者(日本能楽会会員)。山梨県立大学非常勤講師。

武田の杜薪能 事前講座

参加費無料(どなたでもご参加頂けます)

日時: 令和5年4月25日(火) 午後1時～3時
場所: 武田神社社務所内 会議室

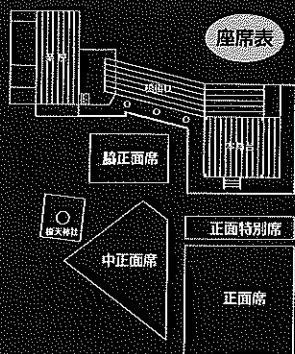


5月27日開催の「武田の杜薪能」の見どころ紹介を、新機能「甲陽」を演じる佐久間二郎が分かりやすく解説。当日に使用する能面なども見られます。※当日ご参加頂けない方のために、YouTubeでの配信もあります。4月25日(火)よりYouTubeチャンネル「武田の杜薪能チャンネル」で配信予定です。

新型コロナウイルス感染拡大予防対策に関するお客様へのお願い

※来場時及び上演中のマスク着用については、厚生労働省の指針に基づき、各自の判断とさせていただきます。※当日、発熱や体調不良が有る場合は、来場をお控え下さい。※会場内には消毒用アルコールを準備致しますので、手指消毒にご協力下さい。※入退場時や会場内でのソーシャルディスタンスの確保、また会話及び咳エチケットには充分ご配慮下さい。※指定された席のみでの鑑賞となり、席の移動はご遠慮下さい。

※今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況や政府行政機関・山梨県の方針によっては、上演内容の変更若しくは公演を中止させて頂く場合がございます。ご来場に当たっては武田神社ホームページにて新着情報をご確認下さい。 <http://www.takedajinja.or.jp/>



《お問い合わせ・お申し込み》 ※雨天決行: 雨天時は、雨合羽のご利用をお願い致します。

武田の杜薪能実行委員会 TEL 055-252-2609
佐久間二郎 TEL 042-316-4860
メール takedanomori.takigino@gmail.com

《交通のご案内》

- ◆JR利用の場合 JR甲府駅 北口 バス停2番よりバス利用で約10分。
山梨交通「武田神社」行又は「積翠寺」行にご乗車下さい。
- ◆自動車利用の場合 中央自動車道 甲府昭和ICより約20分。

※無料駐車場もございますが数に限りがあります。公共交通機関をご利用下さい。

